

Ⅲ 為弘 2 号墳の調査

1 墳 丘

為弘 2 号墳は 1～4 号墳が乗る尾根の奥の方、急傾斜で下りてきた尾根筋が小さな鞍部を越えて少し高まったところに所在する。高さでいえば為弘古墳群中もっとも高いところに位置し、標高 87m を測り、この古墳群の主墳と思われる。2～4 号墳は近接しており、2 号墳の南西の鞍部に 3 号墳があり、南方向、海岸山地へ向けて急傾斜で駆け上がる尾根の奥の傾斜変換線に 4 号墳がある（第 2 図）。4 号墳は設計変更により、保存されることになった。

2 号墳も第 14 図にみるように墳丘の大部分を失っており、石室の石材が露出していた。第 15 図のトレンチ断面図によれば、花崗岩の風化土である赤褐色土とその下の岩盤状態の真砂土（当地方ではオニマサと呼ぶ）を石室に見合う大きさに掘り込んで石室を組み上げている。石室と掘り方の間隙には裏込めの石はなく、土を版築状に埋めている。版築は西トレンチでは明瞭に見られるが、他のトレンチでは不明瞭で、墳丘の造成について版築を余り意識していなかったものと思われる。墳丘の北側（奥壁側）の平坦面には幅約 3.5m、深さ約 0.5m の半円形の周溝が巡っており、墳丘盛土の供給源となったものと思われる。

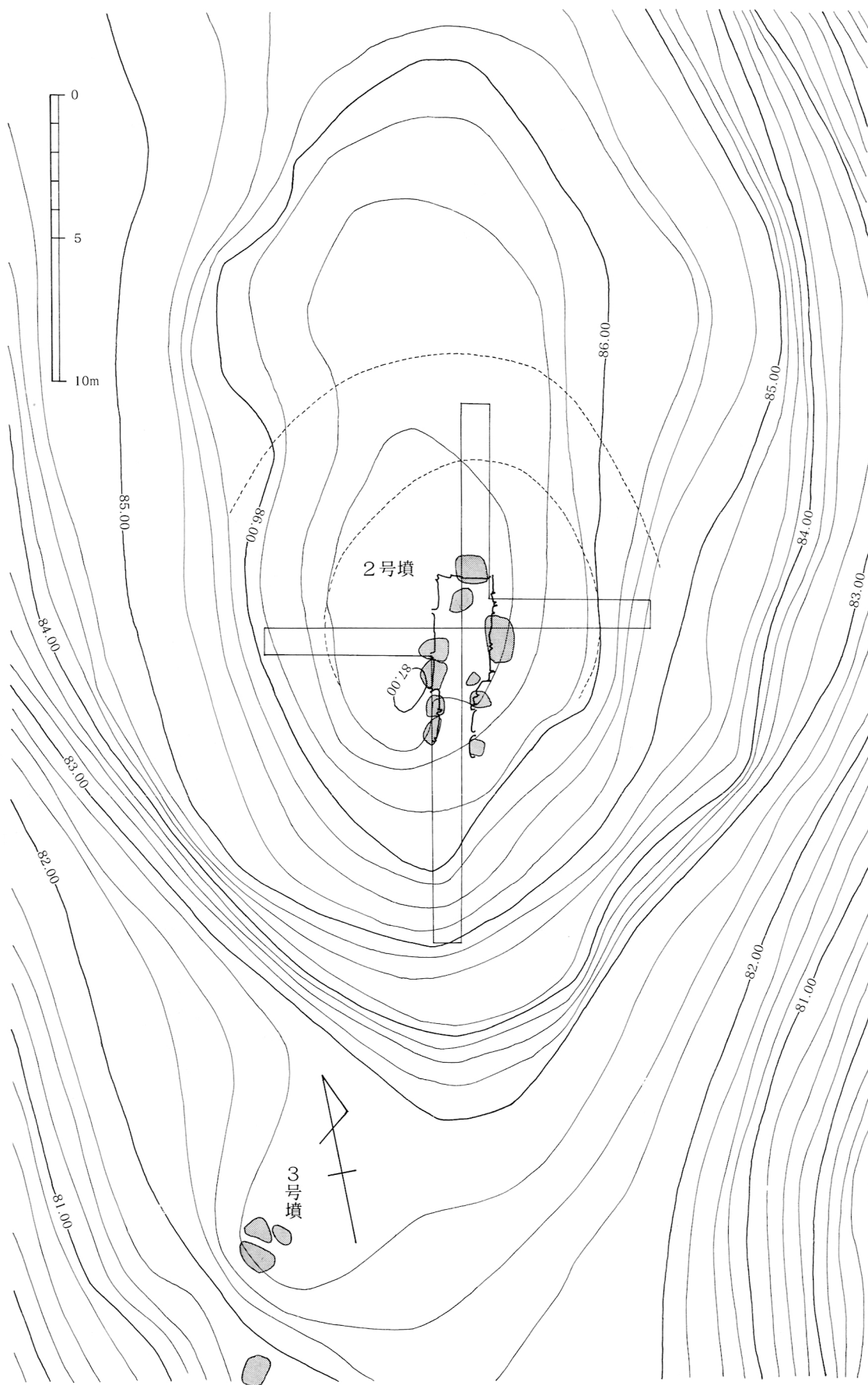
墳丘の規模を第 14 図に示している墳裾の立ち上がりの想定線が正しいと仮定して計測するならば、南北の主軸線でおおよそ 10m、それに石室中央で直交する東西線で約 7m となり、この古墳の墳丘平面プランは楕円形を呈していたと思われる。しかしこの程度なら上から望めば判るかもしれないが、周辺から見れば、円形に見えたはずである。墳丘の高さは石室規模から推定するしかないが、地山を 1m 以上も掘って石室を構築しているので、墓道から見れば 2.5m 程度はあったであろうが、裏（奥壁側）から見れば、2m に達していなかったものと思われる。

2 埋葬施設

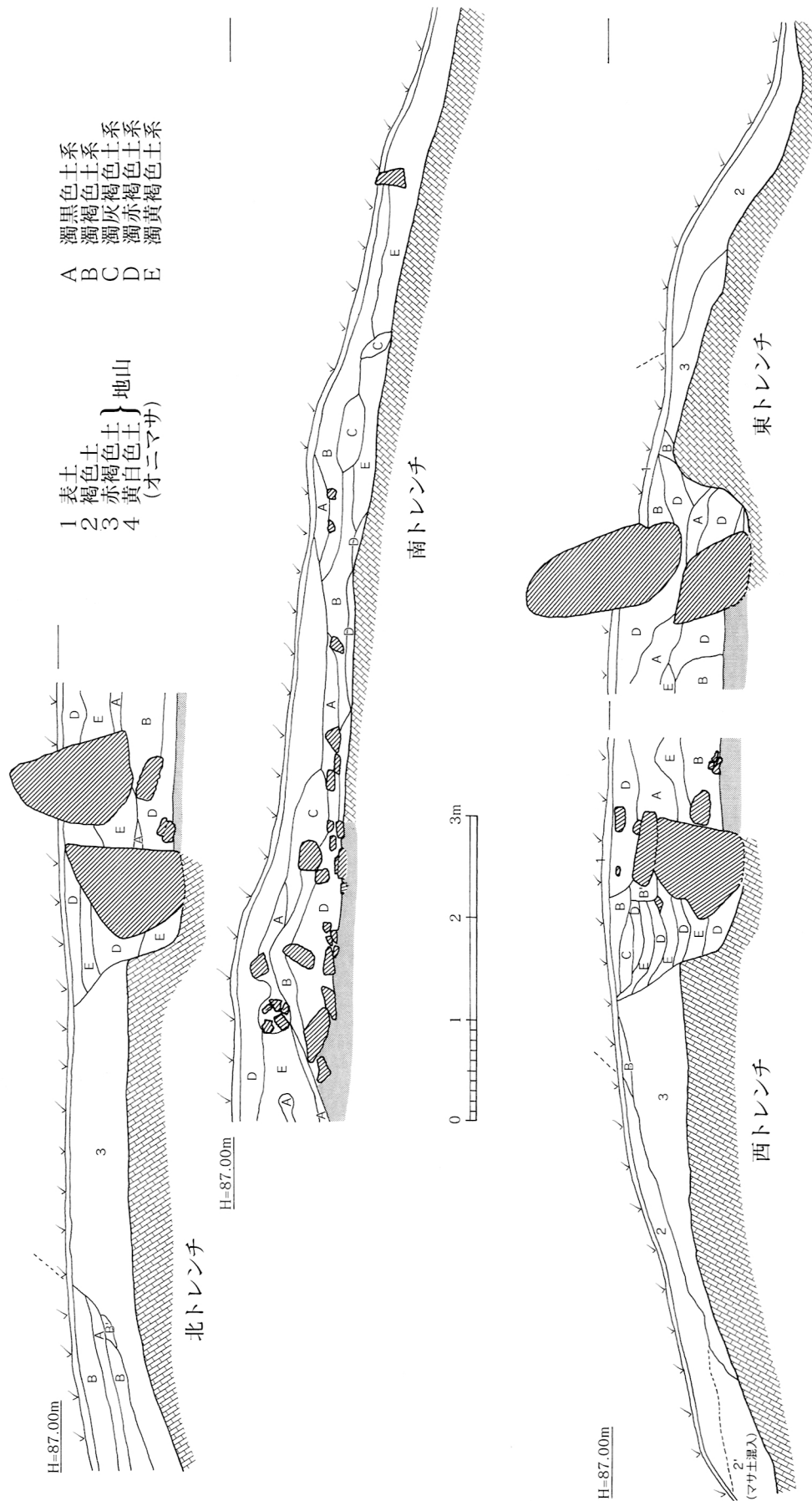
少し西へ振れてはいるものの、ほぼ南方向へ開口する両袖型の横穴式石室である。この古墳の入口である南方向には、すぐ前に海岸山地が聳え立っており、何も見えない。生活基盤である開けた地域は反対側の北方向である。なぜ南に開口するのか理解に苦しむところである。

この古墳も盗掘などによる破壊のため、天井石と石室上段部の石材の殆どは失われていた。第 14・15 図の東トレンチに断面を示し、掘り方内に浮いている大形石材は天井石の一つと思われるが、これにはこの石材を割ろうとして穿った鑿孔（矢打つ）が横一列に並んでいた。すなわちこの古墳を破壊する動機の一つに、石材の抜き取りを意図したものがあったことを示している。また石室内に落ち込んだ大形石材も持ち出すことができずに、そのまま放置されたものと思われる。これらは重機を使って除去した。

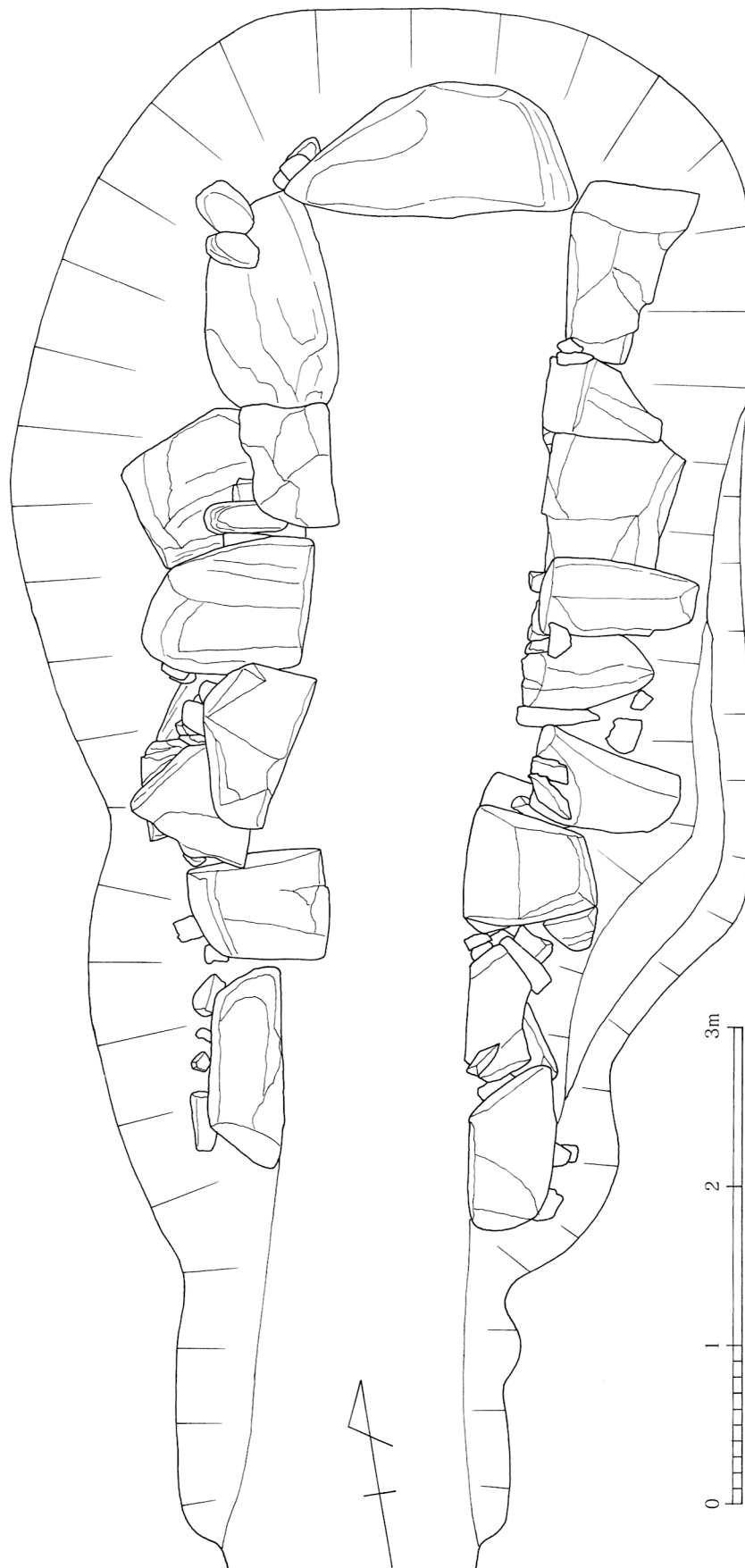
このような破壊を受けてはいるものの、石室の基底部は現存しており、西側壁の一部は上段部まで残っているので、石室の規模を推定することは可能である（第 17 図）。玄室の主軸線での長さはほぼ 4m、中央部での幅約 1.9m、東側壁が西側壁に比べて約 30cm 短く、石室全体が西の方へわずかに湾



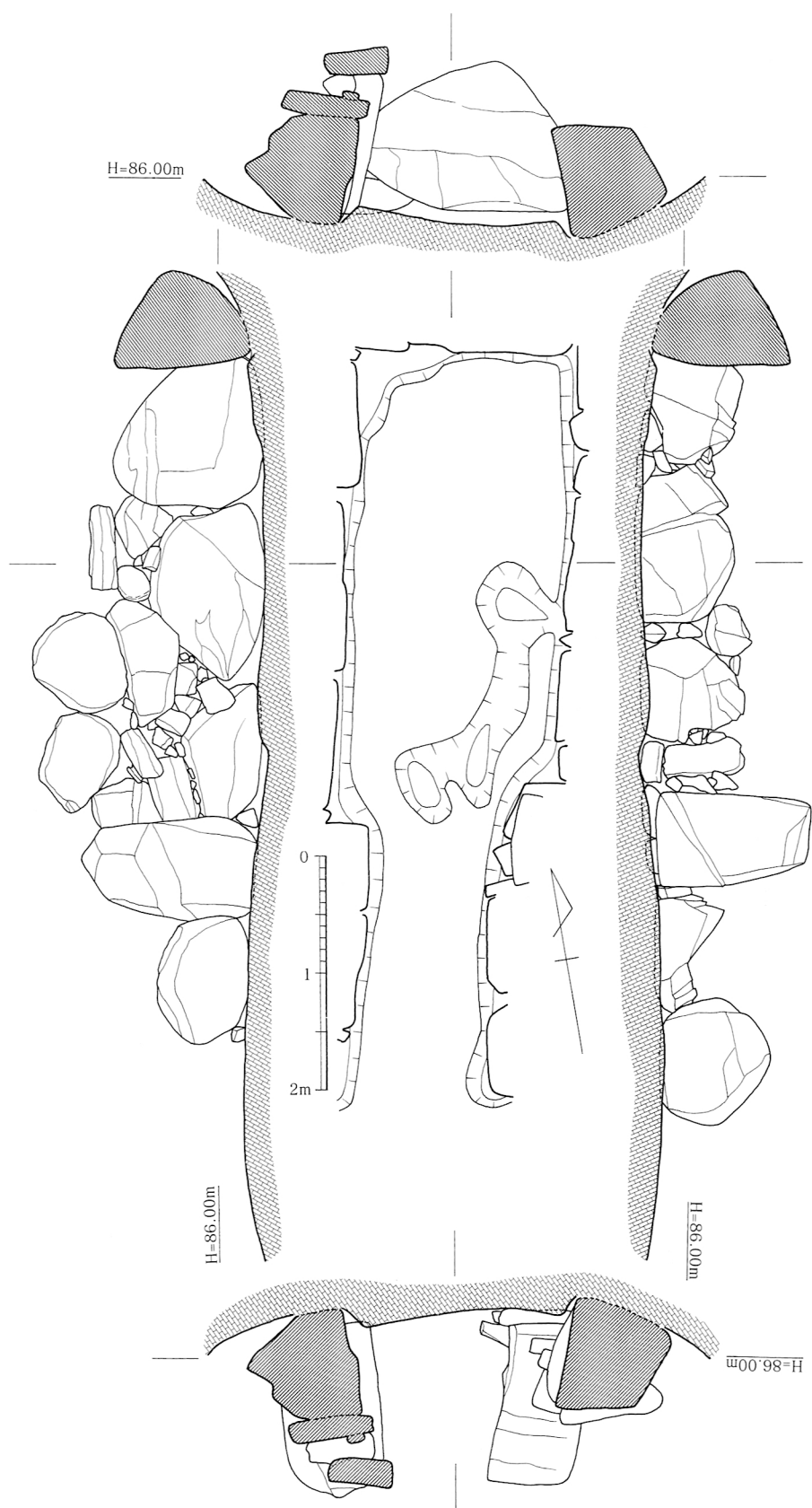
第14図 為弘 2号墳墳丘測量図



第15図 為弘2号墳トレンチ断面実測図

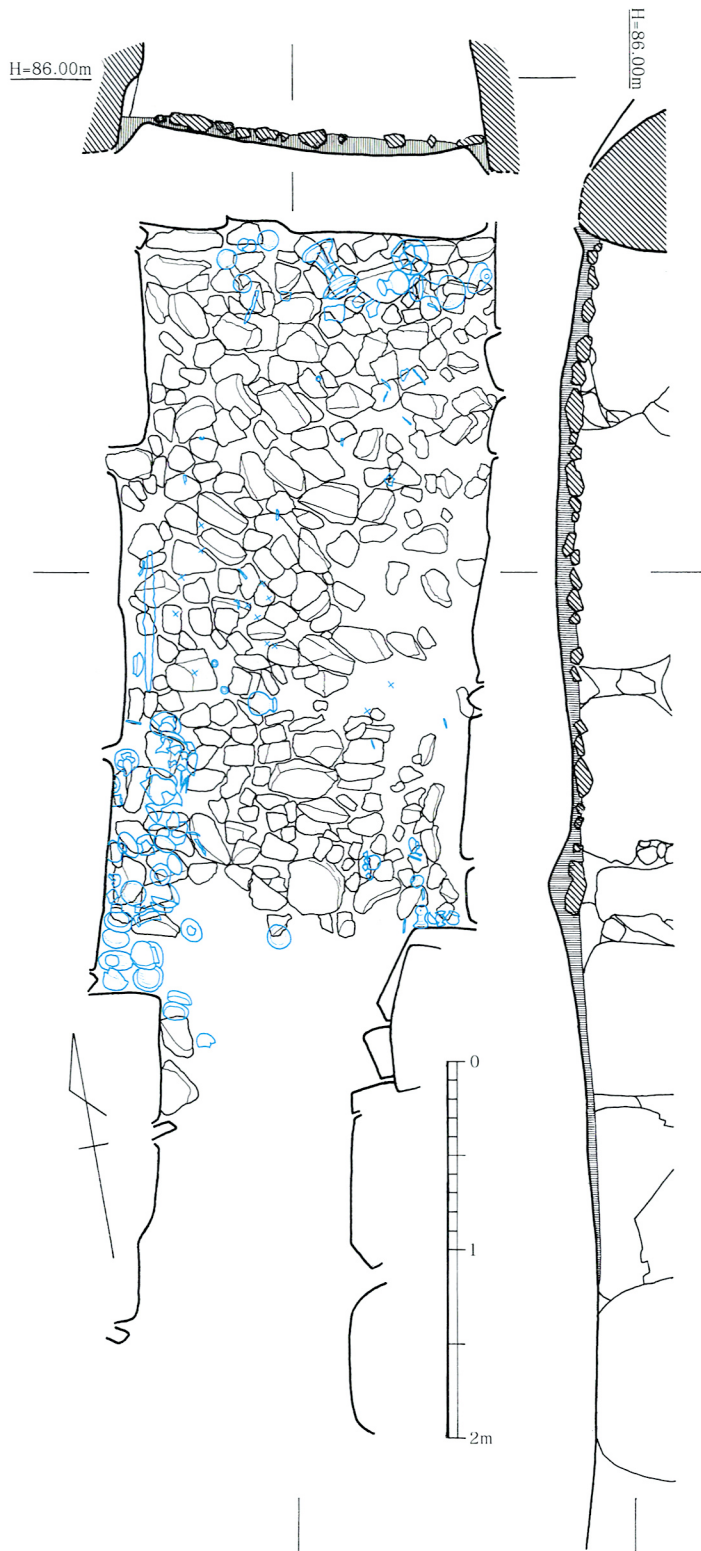


第16図 為弘 2 号墳石室上面観実測図



第17図 為弘 2 号墳石室平面立面実測図

曲しているが、ほぼ長方形を呈する。羨道部は西側の羨門の石が一つ抜けているが、掘り方に残された痕跡から、東側とほぼ同じ長さで完結すると思われるので、それを根拠に復元すれば、長さ2.3m、幅は平均して約1mで、羨門部がやや開き気味である。石室の全長は合わせて6.3mである。玄室内法の高さを残存する西側壁で復元すれば、現存高が床面から1.9mを測るから、ほぼ2m前後と推定される。



第18図 為弘2号墳床面・遺物出土状況実測図

奥壁には幅1.9m、高さ1.3mの自然石1個をもって基部をつくり、その上に小形の石材の長短を埋め合わせながら、約2mの高さまで積み上げたものと思われる。両側壁にも腰回りには大きな自然石を並べているが、形が不揃いであるので、詰め石は勿論であるが、当初から隙間があったと思われる状況で組み上げている(第17図)。玄門には縦長の良く整った石材を両側壁からそれぞれ35cm程度、内へ入れて立て、袖石としている。羨道部の高さを復元する手掛かりはない。

3 出土遺物

墳丘の周辺では須恵器大形甕の胴部破片と弥生土器を相当量採集している。須恵器片は内外面に通常のタタキメを持つ破片で図化できないものであり、弥生土器については第V章で紹介するので、この章では石室内で検出した土器についてのみの記述となる。

出土状況(第18図) 土器類は3か所にまとまって出土した。一番多く出土したのは西袖部から前3分の1の側壁沿

いの部分である。次の集中部分は奥壁部でやや東寄りに中心がある。三つ目は東袖部で甕など完形の土器が並び重なって出土しているが数的には少ない。

耳環を始めとする装身具類は、奥壁部や玄室東側でも若干の出土をみたが、大部分は玄室中央やや南西寄りに重心を置いて検出された。これらの出土位置がおおむね現位置を保っているものと仮定すれば、遺体は頭部を玄門側に向けて葬られたことになり、大刀はその距離と壁際に接していることから推測して、被葬者の頭部から腰にかかる位置で、棺外におかれたことになる。

鉄製品には特に集中部はみられないが、西袖部の周辺に多く、次いで奥壁部東側に多くみられた。これは土器の出土状況に似た傾向といえる。

土 器（第19～21図） 須恵器の坏類が蓋と身を合わせて35個体（蓋が18個、身が17個）出土した。2号墳にも小型化した坏がみられる。1号墳の場合と同じく蓋の口径を130mm以下、身の最大径を140mm以下とすれば、それぞれ5個ずつを数える。出土位置は西袖部から玄門部付近で出土しており、奥壁部にはみられない。奥壁部出土の坏には蓋で口径が146mm以上、身の最大径が150mm以上となるので、奥壁部に初葬の遺物が置かれていると考えてよいと思われる。

有蓋高杯2個体、無蓋高杯2個体、低脚高杯5個体、短頸壺4個体、甕4個体、脚付壺2個体などがあるが、提瓶が8個体出土したのは大きな器種であるだけに床面上では目立つ存在であった。西袖部で新しい様相を持つと思われる4個体（第20図68～第21図71）が出土し、奥壁部ではやや古い様相を示す2個体（第20図65・66）が検出された。第20図61の脚付壺の口頸部には斜行するハケメ状の細線がみられる。陶器の実作者に聞いてみたところ、指によるナデ上げの痕とのことで⁽⁷⁾、納得できる。多分、最終調整のヨコナデが不十分で、成形痕が残ったものと思われる。そのほかには脚付碗、直口壺、長頸壺、広口壺などが各1個体ずつみられる。

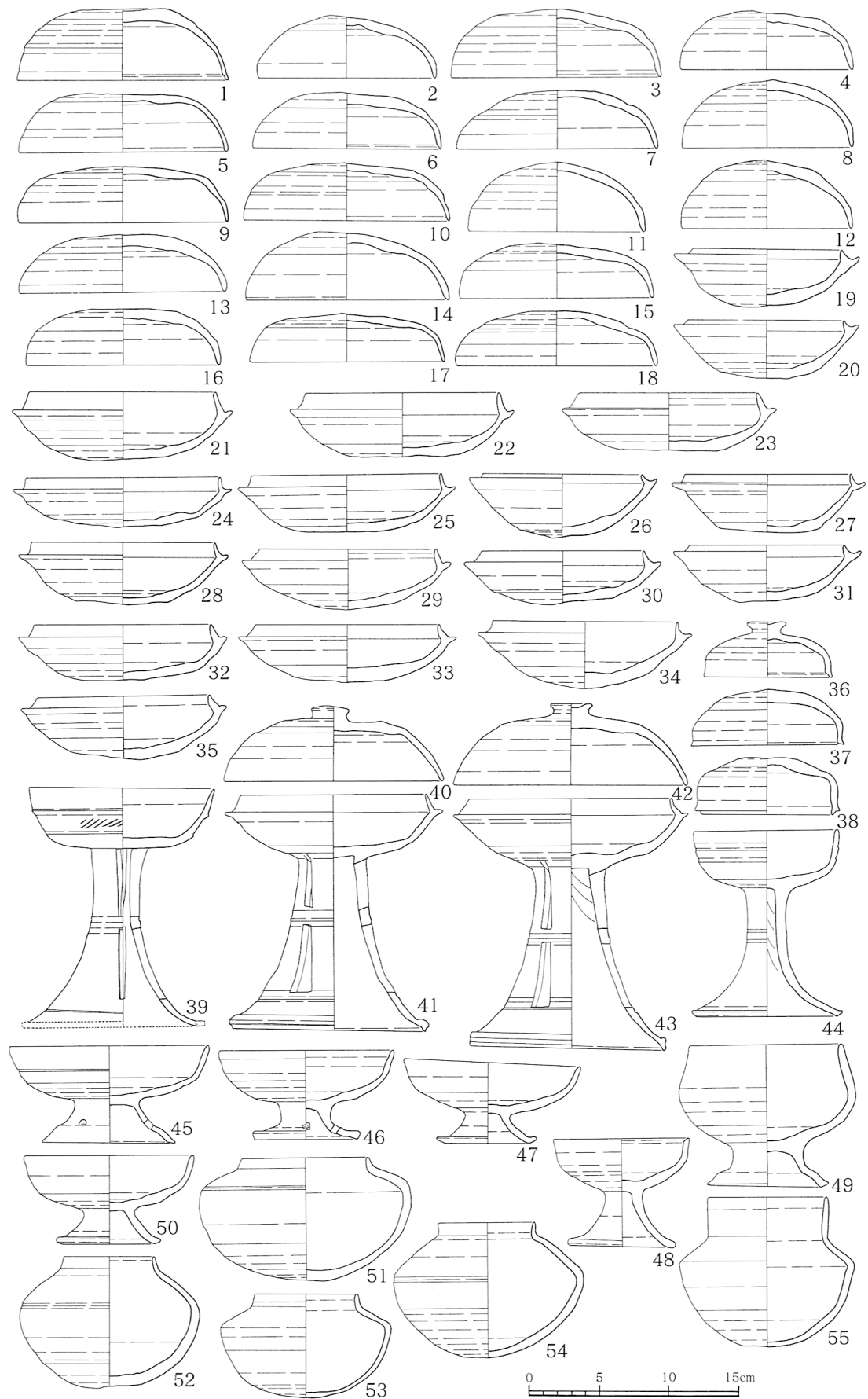
玄門に近い部分で、土師器の甕、鉢、高杯（第21図73～75）がそれぞれ1個体ずつ出土している。これらの土器については第3表において個々の詳細を記している。

装 身 具（第22図） 耳環が3個あり、第22図2・3が玄室中央の南西部に並んで出土しており、対をなすものと思われる。厚めの金箔を貼っているとみえ、内側に皺が寄っている以外は全く無傷で黄金の輝きを失っていない。2は曲げ合わせの端部に若干の緑青をみる。3は心葉形を呈している。1の渡銀耳環は奥壁部中央で検出したものであるが、対となるものは見出せなかった。管玉8個の内、2個（第22図10・13）は欠損しているが、その割れ口が磨耗しており、そのまま使用していたことを示している。装身具の個々については第4表に詳細を示している。

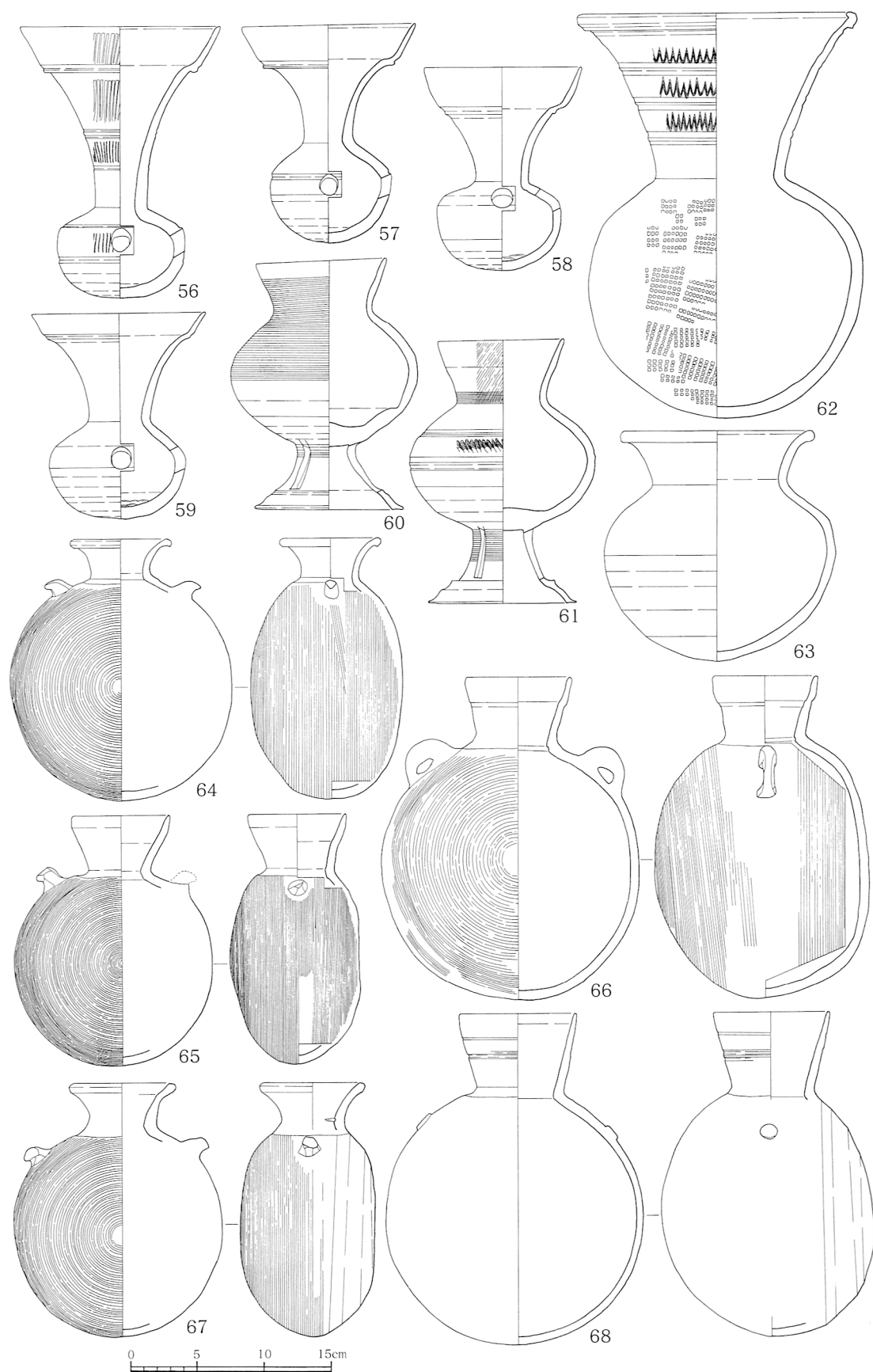
鉄 製 品（第23図） 1は現存長78cmで、刃渡りが67cm余りの直刀で、西側壁の中央部に沿って出土した。2は長軸が6～7cmに復元可能な鏑で、1の鯉口に当たる部分の下に重なって出土しているから、1とセットとなるものである。4はわずかに湾曲するので、9と同様に鉞鎌である可能性も考えられる。出土位置も同じ西袖部で、轡などと共に出土した。

5～7は西袖部で互いに近接して出土しているから、1セットの馬具と考えてよいだろう。7は瓢形鏡板の一部がのびたものとみているが、確証はない。

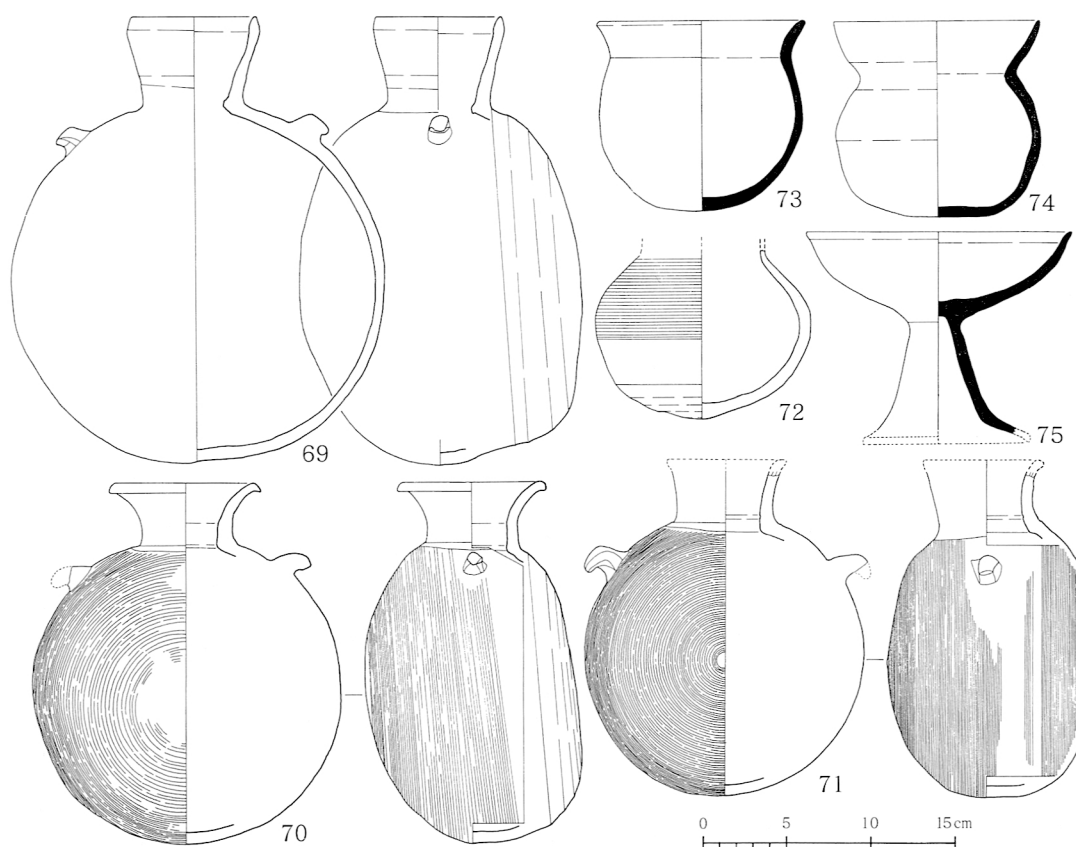
8は有袋無肩の鍛造鉄斧で、全長140mm、刃部幅49mm、重さ451gを計り、古瀬清秀氏分類のB2の範疇に属するが、その中では最大の部類に入る。西袖から約1m奥へ入ったところで、西側壁の下に刺し込むような状態で出土した。9は柄が刃部に対して約140°につく鈍角柄鎌である。かなりの厚み



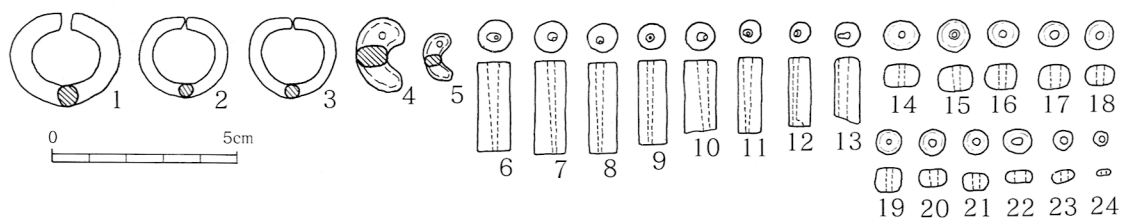
第19図 為弘2号墳出土土器実測図(1)



第20図 為弘 2 号墳出土土器実測図(2)



第21図 為弘 2 号墳出土土器実測図(3)



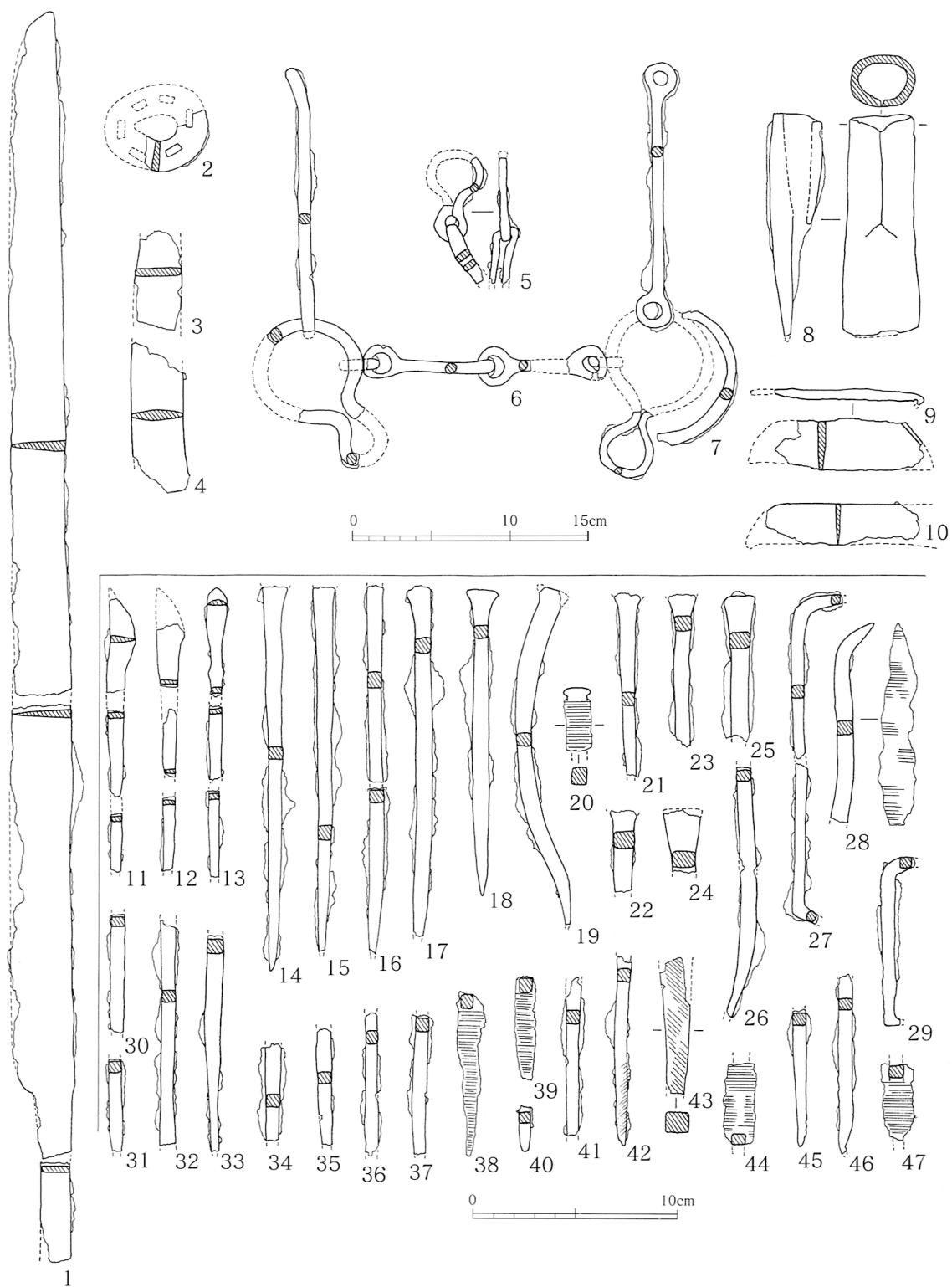
第22図 為弘 2 号墳出土装身具実測図

を持っており、古瀬清秀氏が「鉈鎌」という名称を与えたものである⁽⁸⁾。10は直角に柄の付く鎌と思われる。9・10は共に西袖部で馬具などと一緒にかたまって出土した。

11～13は尖根の鉄鏃、14～26は鉄釘、26～29は鏃である。その他のものは明確ではないが、殆どが釘の断片であろうと思われる。釘は大きいもの（14）では長さ184mm以上、小さいもの（18）でも 147mmを測る。

注(7) 兼田文男氏のご教授による。

(8) 注(6)に同じ。



第23図 為弘 2 号墳出土鉄製品実測図

第3表 為弘2号墳石室内出土土器観察表

凡例 番号欄；下段の4桁数字は取り上げ番号 計量欄；受径は受部径、胴径は胴部最大径、裾径は裾部径
調整欄・備考欄；天は天井部、口は口縁部、胴は胴部、底は底部、脚は脚部

番号	器種	出土位置	計量 mm	調整		色調	焼成	備考
				外 面	内 面			
1 2104	坏 蓋	奥壁部 中 央	口径 150 器高 51	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	青灰色	良好	口縁端部内側に段を持つ 天口界部に凹線が巡る
2 2045	坏 蓋	中央部 西寄り	口径 126 器高 44	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	青灰色	良好	口縁端部は尖り気味 胎土に細砂を含む 小型化
3 2074	坏 蓋	奥壁部 中 央	口径 149 器高 44	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	灰 色	良好	口縁端部内側に鈍い段を持つ
4 2149	坏 蓋	玄門部 中 央	口径 122 器高 41	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	青灰色	良好	口縁端部は丸みを持つ 胎土に細砂を多量含む 小型化
5 2109	坏 蓋	奥壁部 中 央	口径 148 器高 42	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	灰褐色	良好	口縁端部は丸みを持つ 25とセット関係
6 2018	坏 蓋	西袖部	口径 135 器高 39	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	青灰色	良好	口縁端部内側に鈍い段を持つ 胎土に細砂を含む
7 2007	坏 蓋	西袖部	口径 143 器高 41	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	青灰色	良好	口縁端部は丸みを持つ 胎土に細砂を含む
8 2119	坏 蓋	中央部 西壁際	口径 121 器高 47	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	青灰色	良好	口縁端部は丸みを持つ 小型化
9 2113	坏 蓋	奥壁部 西寄り	口径 149 器高 39	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	青灰色	良好	口縁端部は丸みを持つ
10 2111	坏 蓋	奥壁部 中 央	口径 146 器高 41	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	青灰色	良好	口縁端部は丸みを持つ 天井部にヘラ記号
11 2145	坏 蓋	玄門部 西寄り	口径 125 器高 49	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	灰褐色	良	口縁端部は丸みを持つ 小型化
12 2029	坏 蓋	西袖部 中寄り	口径 121 器高 48	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	青灰色	良好	口縁端部は丸みを持つ 小型化
13 2002	坏 蓋	羨道部	口径 146 器高 40	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	灰白色	不良	口縁端部は丸みを持つ 胎土に細砂を含む
14 2005	坏 蓋	玄門部 西壁際	口径 145 器高 48	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	青灰色	良好	口縁端部は尖り気味 胎土に細砂を含む
15 2023	坏 蓋	西袖部	口径 137 器高 39	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	青灰色	良好	口縁端部は丸みを持つ 胎土に細砂を含む
16 2008	坏 蓋	西袖部	口径 137 器高 40	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	青灰色	良好	口縁端部は丸みを持つ
17 2137	坏 蓋	東袖部	口径 138 器高 34	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	灰 色	良	口縁端部は丸みを持つ
18 2021	坏 蓋	西袖部	口径 142 器高 39	天 ヘラケズリ 口 ヨコナデ	天 ナデ 口 ヨコナデ	青灰色	良好	口縁端部は丸みを持つ
19 2040	坏 身	西袖部	口径 106 受径 132 器高 41	口 ヨコナデ 底 ヘラケズリ	口 ヨコナデ 底 ナデ	青灰色	良好	立ち上がりは短く内傾し、端部は丸みを持つ 外面に自然釉 胎土に多量の細砂を含む 小型化
20 2028	坏 身	西袖部	口径 112 受径 132 器高 41	口 ヨコナデ 底 ヘラケズリ	口 ヨコナデ 底 ナデ	青灰色	良好	立ち上がりは短く内傾し、端部は丸みを持つ 小型化
21 2102	坏 身	奥壁部 東寄り	口径 132 受径 158 器高 49	口 ヨコナデ 底 ヘラケズリ	口 ヨコナデ 底 ナデ	青灰色	良好	立ち上がりは長く内傾し、端部は丸みを持つ
22 2105	坏 身	奥壁部 東寄り	口径 138 受径 161 器高 46	口 ヨコナデ 底 ヘラケズリ	口 ヨコナデ 底 ナデ	青灰色	良好	立ち上がりは長く内傾し、端部は丸みを持つ 胎土に細砂を含む
23 2143	坏 身	西袖部	口径 127 受径 153 器高 41	口 ヨコナデ 底 ヘラケズリ	口 ヨコナデ 底 ナデ	青灰色	良好	立ち上がりは長く内傾し、端部は丸みを持つ

番号	器種	出土位置	計量 mm	調 整		色調	焼成	備 考
				外 面	内 面			
24 2112	坏 身	奥壁部 西寄り	口径 138 受径 157 器高 35	口底 ヨコナデ ヘラケズリ	口底 ヨコナデ ナデ	青灰色	良好	立ち上がりは直立し、端部は丸みを持つ 底部にへう記号 胎土に細砂を含む
25 2110	坏 身	奥壁部 中寄り	口径 135 受径 156 器高 40	口底 ヨコナデ ヘラケズリ	口底 ヨコナデ ナデ	灰褐色	良	立ち上がりは直立気味で、端部は丸みを持つ 5とセット関係
26 2015	坏 身	西袖部	口径 114 受径 135 器高 45	口底 ヨコナデ ヘラケズリ	口底 ヨコナデ ナデ	灰 色	良好	立ち上がりは短く内傾し、端部は丸みを持つ 小型化
27 2035	坏 身	西袖部	口径 118 受径 138 器高 41	口底 ヨコナデ ヘラケズリ	口底 ヨコナデ ナデ	灰白色	不良	立ち上がりは短く内傾し、端部は丸みを持つ 小型化
28 2115	坏 身	奥壁部 西寄り	口径 131 受径 150 器高 43	口底 ヨコナデ ヘラケズリ	口底 ヨコナデ ナデ	灰褐色	良好	立ち上がりは内傾し、端部は丸みを持つ
29 2003	坏 身	玄門部 西寄り	口径 126 受径 150 器高 43	口底 ヨコナデ ヘラケズリ	口底 ヨコナデ ナデ	青灰色	良好	立ち上がりは内傾し、端部は尖り気味 胎土に細砂を含む
30 2139	坏 身	東袖部	口径 116 受径 140 器高 37	口底 ヨコナデ ヘラケズリ	口底 ヨコナデ ナデ	青灰色	良好	立ち上がりは短く内傾し、端部は尖り気味 胎土に細砂を含む 小型化
31 2054	坏 身	玄門部 中 央	口径 111 受径 135 器高 40	口底 ヨコナデ ヘラケズリ	口底 ヨコナデ ナデ	青灰色	良好	立ち上がりは短く内傾し、端部は尖り気味 胎土に細砂を含む 小型化
32 2025	坏 身	西袖部	口径 127 受径 150 器高 40	口底 ヨコナデ ヘラケズリ	口底 ヨコナデ ナデ	灰 色	良好	立ち上がりは分厚く内傾し、端部は尖り気味 胎土に細砂を含む
33 2016	坏 身	西袖部	口径 132 受径 156 器高 41	口底 ヨコナデ ヘラケズリ	口底 ヨコナデ ナデ	灰 色	不良	立ち上がりは分厚く内傾し、端部は尖り気味
34 2013	坏 身	西袖部	口径 133 受径 153 器高 47	口底 ヨコナデ ヘラケズリ	口底 ヨコナデ ナデ	青灰色	良好	立ち上がりは分厚く直立し、端部は尖る
35 2055	坏 身	西袖部	口径 123 受径 147 器高 45	口底 ヨコナデ ヘラケズリ	口底 ヨコナデ ナデ	青灰色	良好	立ち上がりは分厚く内傾し、端部は尖り気味
36 2128	蓋	中央部 東寄り	口径 91 器高 40	天口 ヨコナデ ヘラケズリ	天口 ナデ ヨコナデ	青灰色	良好	口縁端部内側に段を持つ ボタン状つまみ
37 2004	蓋	西袖部	口径 110 器高 39	天口 ヨコナデ ヘラケズリ	天口 ナデ ヨコナデ	青灰色	良好	口縁端部は外へ突出して尖る
38	蓋	南 トレンチ	口径 93 器高 40	天口 ヨコナデ ヘラケズリ	天口 ナデ ヨコナデ	灰白色	不良	口縁端部外面を段状につくる 胎土に細砂を含む
39 2075	高 杯	西袖部 中寄り	口径 133 現高 169	剥落	剥落	黄橙色	不良	脚部に2方2段長方形透かし 坏部に斜行連続短沈線文
40 2019	蓋	西袖部	口径 156 器高 53	天口 ヨコナデ ヘラケズリ	天口 ナデ ヨコナデ	青灰色	良好	擬宝珠つまみ 口縁端部を丸める 胎土に細砂を含む
41 2012	有 蓋 杯	西袖部	口径 133 器高 168 裾径 137	口底 ヨコナデ ヘラケズリ 脚 ヨコナデ	口底 ヨコナデ ナデ 脚 ヨコナデ	灰 色	良好	3方2段方形透かしの脚部に坏身が乗る 立ち上がりは長く内傾し、端部は丸みを持つ 胎土に細砂を含む
42 2062	蓋	玄門部 中 央	口径 186 器高 57	天口 ヨコナデ ヘラケズリ	天口 ナデ ヨコナデ	青灰色	良好	ボタン状つまみ 口縁端部は丸みを持つ
43 2044	有 蓋 杯	奥壁部 中 央	口径 145 器高 178 裾径 137	口底 ヨコナデ ヘラケズリ 脚 ヨコナデ	口底 ヨコナデ ナデ 脚 ヨコナデ	青灰色	良好	3方2段方形透かしの脚部に坏身が乗る 立ち上がりは長く内傾し、端部に丸みを持つ 胎土に細砂を含む
44 2038	高 杯	西袖部 中寄り	口径 101 器高 132 裾径 100	口底 ヨコナデ ヘラケズリ 脚 ヨコナデ	口底 ヨコナデ ナデ 脚 ヨコナデ	青灰色	良好	透かしのない長脚部に碗形の坏部が乗る 坏部と脚部にそれぞれ2条の凹線を持つ 胎土に細砂を含む 43・44の脚部内面にはシボリ目顕著

番号	器種	出土位置	計量 mm	調 整		色調	焼成	備 考
				外 面	内 面			
45 2011	高 杯	西袖部 隅	口径 142 器高 69 裾径 94	口 ヨコナデ 底 ヘラケズリ 脚 ヨコナデ	口 ヨコナデ 底 ナデ 脚 ヨコナデ	青灰色	良好	3 方小円孔透かしを持つハ字状 低脚部に椀形坏部が乗る 脚部に鈍い段がある
46 2028	高 杯	西袖部	口径 124 器高 63 裾径 73	口 ヨコナデ 底 ヘラケズリ 脚 ヨコナデ	口 ヨコナデ 底 ナデ 脚 ヨコナデ	青灰色	良好	小円孔透かし 1 個を持つハ字状 低脚部に椀形坏部が乗る
47 2030	高 杯	西袖部	口径 126 器高 59 裾径 60	口 ヨコナデ 底 ヘラケズリ 脚 ヨコナデ	口 ヨコナデ 底 ナデ 脚 ヨコナデ	青灰色	良好	ハ字状低脚部に椀形坏部が乗る 透かしなし 焼き歪みがある 胎 土に細砂を含む 底部にへう記号
48 2020	高 杯	西袖部	口径 97 器高 77 裾径 74	口 ヨコナデ 底 ヨコナデ 脚 ヨコナデ	口 ヨコナデ 底 ナデ 脚 ヨコナデ	青灰色	良好	ハ字状低脚部に椀形坏部が乗る 透かしはない
49 2017	脚付椀	西袖部	口径 108 器高 101 裾径 73	口 ヨコナデ 底 ヘラケズリ 脚 ヨコナデ	口 ヨコナデ 底 ナデ 脚 ヨコナデ	青灰色	良好	鈍い段のあるハ字状低脚部に椀 が乗る 透かしはない 外面に自然釉が付着
50 2032	高 杯	西袖部	口径 120 器高 62 裾径 64	口 ヨコナデ 底 ヘラケズリ 脚 ヨコナデ	口 ヨコナデ 底 ナデ 脚 ヨコナデ	青灰色	良好	ハ字状低脚部に椀形坏部が乗る 透 かしなし 脚部に大きな焼き歪み 胎土に細砂を含む 底部にへう記号
51 2140	短頸壺	東袖部	口径 90 胴径 152 器高 87	口 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ヘラケズリ	口 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ナデ	灰 色	良好	偏球形の体部に短くやや内傾す る口頸部が付く
52 2136	短頸壺	東袖部 中寄り	口径 64 胴径 129 器高 94	口 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ヘラケズリ	口 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ナデ	青灰色	良好	球形の体部に短く内傾する口頸 部が付く 胎土に細砂を含む
53 2099	短頸壺	奥壁部 中寄り	口径 72 胴径 123 器高 73	口 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ヘラケズリ	口 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ナデ	青灰色	良好	肩の張る球形体部に短い口頸部 が直立する
54 2031	短頸壺	西袖部	口径 68 胴径 136 器高 96	口 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ヘラケズリ	口 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ナデ	灰 色	良好	偏球形の体部に短く直立する口 頸部が付く 外面に自然釉が付 着 胎土に細砂を含む
55 2024	直口壺	西袖部	口径 84 胴径 105 器高 106	口頸 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ヘラケズリ	口頸 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ナデ	青灰色	良好	肩の張る球形体部に直立する口 頸部が付く 胎土に細砂を多量含む
56 2009	壺	西袖部 隅	口径 149 胴径 102 器高 197	口頸 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ヘラケズリ	口頸 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ナデ	青灰色	良好	小円孔を持つ体部にラッパ形の口頸 部を付ける 口頸部に暗文風の縦線 が 2 段 頸部と胴部に櫛歯状刺突文
57 2033	壺	西袖部	口径 129 胴径 900 器高 163	口頸 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ヘラケズリ	口頸 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ナデ	青灰色	良好	小円孔を持つ球形体部にラッパ 形の口頸部を付ける
58 2063	壺	東袖部 隅	口径 117 胴径 93 器高 150	口頸 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ヘラケズリ	口頸 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 タタキ	青灰色	良好	小円孔を持つ球形体部にラッパ 形の口頸部を付ける 胎土に細砂を含む
59 2022	壺	西袖部	口径 129 胴径 102 器高 48	口頸 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ヘラケズリ	口頸 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 タタキ	灰 色	良好	小円孔を持つ球形体部にラッパ 形の口頸部を付ける
60 2065	脚付壺	東袖部	口径 96 胴径 140 器高 136	口 ヨコナデ 頸胴 カキメ 脚 ヨコナデ	口 ヨコナデ 頸胴 ヨコナデ 脚 ヨコナデ	青灰色	良好	3 方方形透かしを持つハ字状の 脚部に直口壺が乗る 胎土に細砂を含む
61 2046	脚付壺	奥壁部 東寄り	口径 94 胴径 140 器高 146	口胴 ヨコナデ 頸 カキメ 脚 ヨコナデ	口頸 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 脚 ヨコナデ	青灰色	良好	3 方方形透かしを持つハ字状の脚 部に直口壺が乗る 胴部に波状文 頸・上胴部に斜行する指腹擦痕
62 2048	長頸壺	奥壁部 東寄り	口径 197 胴径 202 器高 304	口 ヨコナデ 頸 ヨコナデ 体部 タタキ	口 ヨコナデ 頸 ヨコナデ 体部 タタキ	灰 色	良好	頸部に各 2 条の凹線で区切られ た 3 段の画面に波状文 体部全面に格子目タタキ
63 2028	広口壺	西袖部	口径 139 胴径 173 器高 170	口頸 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ヘラケズリ	口頸 ヨコナデ 胴 ヨコナデ 底 ナデ	灰 色	不良	胎土に細砂を含む

番号	器種	出土位置	計量 mm	調 整		色調	焼成	備 考
				外 面	内 面			
64 2042	提 瓶	中央部 西寄り	口径 70 器高 194	口頸 ヨコナデ 体部 カキメ	口頸 ヨコナデ 体部 ヨコナデ	灰 色	良好	角状把手を持つ 胎土に細砂を含む
65 2049	提 瓶	奥壁部 東 隅	口径 73 器高 185	口頸 ヨコナデ 体部 カキメ	口頸 ヨコナデ 体部 ヨコナデ	青灰色	良好	角状把手 頸部に傘形ヘラ記号 胎土に細砂を含む
66 2051	提 瓶	奥壁部 東 隅	口径 77 器高 239	口頸 ヨコナデ 体部 カキメ	口頸 ヨコナデ 体部 ヨコナデ	青灰色	良好	環状把手を持つ 胎土に細砂を多量含む
67 2077	提 瓶	中央部	口径 72 器高 188	口頸 ヨコナデ 体部 カキメ	口頸 ヨコナデ 体部 ヨコナデ	灰 色	良好	角状把手を持つ 胎土に細砂を含む
68 2028	提 瓶	西袖部	口径 87 器高 186	口頸 ヨコナデ 体部 カキメ	口頸 ヨコナデ 体部 ヨコナデ	灰 色	良好	ボタン状把手を持つ 上半部に 自然釉付着 胎土に細砂を含む
69 2041	提 瓶	西袖部 中寄り	口径 72 器高 267	口頸 ヨコナデ 体部 ヨコナデ	口頸 ヨコナデ 体部 ヨコナデ	灰 色	良好	角状把手を持つ 体部B面はヘラケズリ
70 2010	提 瓶	西袖部 隅	口径 82 器高 212	口頸 ヨコナデ 体部 カキメ	口頸 ヨコナデ 体部 ヨコナデ	灰 色	良好	角状把手を持つ 体部B面はヘラケズリ
71 2114	提 瓶	西袖部	残高 191	頸 ヨコナデ 体部 カキメ	頸 ヨコナデ 体部 ヨコナデ	青灰色	良好	角状把手を持つ 胎土に細砂を含む
72 2034	壺	西袖部	残高 99	胴 カキメ 底 ヘラケズリ	胴 ヨコナデ 底 ナデ	青灰色	良好	口頸部を欠損 短頸壺か？ 胎土に細砂を含む
73 2066	土 師 器 甕	東袖部 隅	口径 120 器高 112	全面 ミガキ	全面 ミガキ	橙褐色	良	体部外面に黒斑 胎土に細砂を含むが精良
74 2037	土 師 器 鉢	中央部 西寄り	口径 122 器高 116	全面 ミガキ	全面 ミガキ	赤橙色	良	口頸部内外面及び体部外面に赤 色顔料を塗布 胎土は精良
75 2039	土 師 高 杯	西袖部 中寄り	口径 157 残高 118	全面 ミガキ	全面 ミガキ	黄橙色	良	胎土は精良

第4表 為弘2号墳石室内出土装身具観察表

凡例 長さの単位はmm、重さの単位はg 備考欄の4桁数字は取り上げ番号

番号	種 類	外 径	長 さ	断面径	重 さ	色 調	備 考 (保存状況)
1	耳 環	29.3		5.7	13.26	白 銀	2117 銅芯渡銀 (良)
2	耳 環	23.7		3.9	5.72	黄 金	2081 銅芯金張 (良好)
3	耳 環	23.1		4.0	6.21	黄 金	2132 銅芯金張 (良好)
4	勾 玉		19.4	7.0	2.66	白 緑	2127 翡翠製 (完形)
5	勾 玉		12.6	3.5		緑	2086 翡翠製 (完形)
6	管 玉	9.5	25.0		4.56	濃 緑	2083 碧玉製 (完形)
7	管 玉	9.3	26.0		4.38	濃 緑	2103 璧玉製 (完形)
8	管 玉	8.6	25.6		3.72	濃 緑	2134 璧玉製 (完形)
9	管 玉	8.5	23.7		3.17	濃 緑	2188 璧玉製 (完形)
10	管 玉	8.6	(20.2)		(2.63)	濃 緑	2176 璧玉製 (一部欠損)
11	管 玉	6.3	19.2		1.43	濃 緑	2100 璧玉製 (完形)
12	管 玉	6.8	21.2		1.76	濃 緑	2216 璧玉製 (完形)
13	管 玉	7.8	18.6		2.00	濃 緑	2092 璧玉製 (完形)
14	小 玉	10.5	6.4		0.95	紺	2133 ガラス製 (完形)
15	小 玉	10.0	7.5		0.81	紺	2090 ガラス製 (完形)
16	小 玉	7.9	7.1		0.60	紺	2084 ガラス製 (完形)
17	小 玉	8.8	7.9		0.88	紺	2082 ガラス製 (完形)
18	小 玉	8.0	6.8		0.58	紺	2131 ガラス製 (完形)
19	小 玉	7.2	6.7		0.57	紺	2087 ガラス製 (完形)
20	小 玉	7.9	5.3		0.56	紺	2085 ガラス製 (完形)
21	小 玉	7.2	5.6		0.43	紺	2089 ガラス製 (完形)
22	小 玉	7.4	4.0		0.32	紺	2088 ガラス製 (完形)
23	小 玉	6.8	3.8		0.17	紺	2130 ガラス製 (完形)
24	小 玉	4.3	2.0		0.07	淡 緑	2129 ガラス製 (完形)